

公的医療機関等2025プラン

2018年8月27日

埼玉医科大学病院・病院長

織田 弘美

基本理念

**当院は、すべての病める人に
満足度の高い医療を行うよう努めます**

病院の基本方針

すべての病める人々にまごころをもって臨みます

安心で質の高い医療を実践します

まわりの医療機関と協力し合います

高い技能を持つ心豊かな人材を育成します

より幸せとなる医療を求めた研究を推進します

患者さんの権利

**当院は、すべての患者さんには
以下の権利があるものと考えます
これらを尊重した医療を行うことをめざします**

ひとりひとりが大切にされる権利

安心して質の高い医療を受ける権利

ご自分の希望を述べる権利

納得できるまで説明を聞く権利

医療内容をご自分で決める権利

プライバシーが守られる権利

患者さんへのお願い

ご自分の健康に関することを詳しくお話ください
ご自分にして欲しいこと、欲しくないことを遠慮なくお話ください
わからないことがあれば納得できるまでお聞きください
治療を受けていて異常を感じたらすぐにお知らせください
他の患者さんの迷惑にならないよう配慮してください

埼玉医科大学病院が目指すもの

- 埼玉県唯一の医育機関の本院として高度専門医療を提供
- High Quality General Hospital(質の高い医療と教育研究を提供する総合病院)
- 患者中心の医療(Patient Centered Medicine)を徹底的に追及
- 患者さんのために安心して安全な医療を提供
- わかりやすい名称の専門外来
- 受診しやすい医療を提供
- 急患センター・中毒センターによる24時間応需の救急医療の提供
- 高度で質の高い地域を守る医療をめざし、地域医療に貢献
- 在宅医療支援

病床規模等

- 病床数 970床
 - 一般病床(7対1) 886床
 - 一般病床(880床)
 - 結核モデル病床(6床)
 - 精神科病床 78床
 - 精神科救急病床
 - 感染症病床 6床
 - 第一種感染症病床(2床)
 - 第二種感染症病床(4床)

ICU	6床
HCU	16床
GCU	18床
NICU	18床
MFICU	6床

病床規模等

- 診療科30科
 - 常勤医師 364名
 - 研修医 71名(1年34名、2年37名)
- 看護単位27単位
 - 看護師数 908名
- 職員総数 1916名

当院の現状

- 紹介率 69.4%
- 逆紹介率 54.4%
- 平均在院日数 13.7日
- 重症度、医療・看護必要度 29.7%

主な指定

- 埼玉県災害拠点病院
- 埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院
- 埼玉県地域周産期母子医療センター
- 埼玉県肝疾患診療連携拠点病院
- 埼玉県エイズ治療拠点病院
- 埼玉県小児救急医療拠点病院
- 救急病院
- 精神科救急医療施設
- 埼玉DMAT指定病院
- 特定機能病院
- 精神保健福祉法指定病院
- 応急入院指定病院
- 結核指定医療機関
- 第一種・第二種感染症指定医療機関
- 難病法指定医療機関
- 指定自立支援医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 臨床修練指定病院

わかりやすい専門外来

- 救急センター・中毒センター
- こどもセンター
- アレルギーセンター
- アイセンター
- 女性ヘルスケアセンター
- 難病センター
- てんかんセンター
- 内視鏡センター
- 腎センター
- 院内助産所

当院の課題

- 構想区域内だけでの対応は困難
 - 構想区域以外からの流入(約33%)が多い
 - 構想区域以外への流出(約25%)が多い
- 転院調整に日数を要している
 - 高度急性期・急性期直後の患者の受け皿となる医療機関が少ない
 - 双方の医療機関の転院調整システムの再構築が必要

2025年に向けた取り組み

- 大学病院(特定機能病院)としての高度医療・急性期医療の提供
- 地域包括ケアシステム構築にむけた大学病院(特定機能病院)としての役割分担、機能分担の構築
 - 急性期、回復期、慢性期間の医療連携パス、医療介護連携パスの充実・構築
- 地域医療の基幹病院として医療提供と連携
- 地域の医療従事者の教育・育成
 - 医療系大学病院として、地域全体の医療・介護職員の質向上に貢献

2025年に向けた取り組み

- 地域の救急医療体制の充実
- 地域における在宅医療・在宅介護の充実支援
 - 大学病院(特定機能病院)としての役割と連携支援
 - 連携ネットワークの構築
 - 医療機関間の連携
 - 医療機関・介護施設間の連携
 - ICTの活用の推進
 - 緩和ケア(在宅医療との連携)の充実

2025年に向けた取り組み

- 国・県等の政策医療への寄与
 - 感染症対策
 - 各種の医療拠点病院
- 災害拠点病院としての災害医療の提供と関係機関との連携
 - 災害時の地域医療を堅持
 - 国、県、保健所、市町村等の行政機関
 - 医師会、歯科医師会、薬剤師会等の医療職能団体
 - 警察、消防、自衛隊

今後の病床機能

- 高度急性期病床
 - 大学病院(特定機能病院)として、先進的医療・高度急性期医療を提供
- 急性期病床
 - 大学病院(特定機能病院)として、急性期医療を提供
 - 救急車搬送患者等に対する救急医療を提供
 - 在宅医療、施設入所者等の急変時の急性期医療を提供
 - 急性期リハビリテーションを提供
- 地域包括ケア病床(要相談)
 - 地域の整備状況による

	現在 (平成28年度)	将来 (2025年度)
高度急性期	761床	661床
急性期	0床	100床
回復期	0床	0床
慢性期	0床	0床
合計	761床	761床

将来像

- 質の高い医療を安全に提供
- 教育病院として地域の人材育成
- 地域医療の旗手として大学病院の役割を達成
- 医療・介護・福祉の融合と地域内の機能分担の推進・ネットワークの強化

ご清聴ありがとうございます